

マーケットの動き（2026年5月26日～5月29日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。米国とイランの戦闘終結に向けた協議進展期待に伴う原油価格の下落を受け過度なインフレ懸念が後退し、債券は買われました。28日には、米国とイランが停戦期間を60日間延長する内容を盛り込んだ覚書で暫定合意したと伝えられ、最終合意が近いとの観測が広がりました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

投資環境見通し（2026年5月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともにレンジ内で推移

米国：これまでの原油価格高騰を受けて世界的なインフレ懸念が残ることに加えて、次第に景気の悪化も懸念される中、FRB（米国連邦準備制度理事会）は緩和バイアスを弱めつつ、当面は現行の金融政策を継続するとみられます。長期金利はレンジ内で推移するとみています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）はインフレ上振れと成長下振れのリスクを指摘し、政策金利を据え置きましたが、今後の中東情勢や原油価格の動向次第で早期に利上げを行うとの見方が広がっています。当面のドイツ長期金利は米国長期金利と同様にレンジ内で推移するとみています。

	5月29日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.44	▲0.12	0.03	0.43	0.01
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	684.86	1.08%	0.31%	3.29%	15.45%

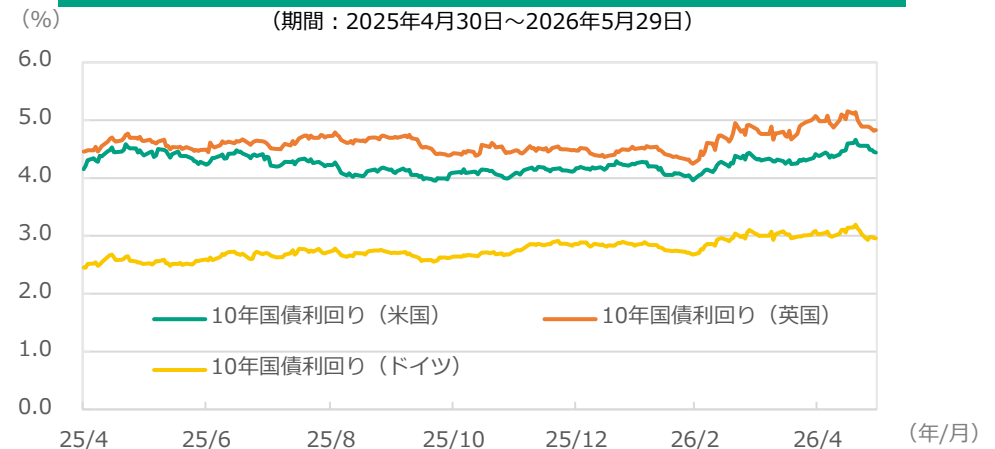
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202605_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2025年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成